

令和4-5年度 草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会での成果

草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会の役割

- 市民参加および草津市協働のまちづくり推進計画の各指標を評価するだけでなく、市民参加や協働の今後の方針や方向性の意見を出し、現状や課題に対する解決策を更にバージョンアップさせる役割。

令和4-5年度の成果

- 下記の通り協働のまちづくりの現状を整理することができた。
 - ・ 市民目線で、市や中間支援組織、まちづくり協議会等の各主体がそれぞれどのような取組をしているのかわからない。
 - ・ 各主体の連携や、市民との協働に対する苦手意識より、各主体が協働することへのメリットを実感できていない。
 - ・ 第2次計画では、「学ぶ」「見える」「つながる」をコンセプトとしてきたが、『見える』『つながる』という部分に課題が見受けられる結果となった。
- 各地域での高齢化や担い手不足等の課題が出てくる中で、プロジェクト制の導入や、地域×市民公益活動団体等の協働により、多世代の地域への参画が見受けられるなどの好事例が確認できた。

令和6年度第1回草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会の位置づけ

目的

- 令和5年度における市民参加および草津市協働のまちづくり推進計画の達成状況の報告を行う。
- 第2次草津市協働のまちづくり推進計画の総括として、令和5年度第3回にて実施した中間支援組織、市に引き続き、市民、まちづくり協議会、基礎的コミュニティ、市民公益活動団体、教育機関について評価を行う。
- 上記2点の成果と課題を踏まえ、第3次計画の構想について意見交換を行う。

次期計画の策定スケジュール

- 第2回:令和6年7月9日 ○第3回:令和6年8月28日 ○第4回:令和6年10月8日 ○第5回:令和6年11月26日 ○第6回:令和7年2月25日